

南の国の「ナデシコ」税理士

成功へのキセキ

第31回 ミナミの国の食いしん坊バンサイ

ヤンゴンの、美味しいお店を教えてください

最近、こんなリクエストが増えてきました。友だちからだったり、知り合いからだったり、友だちのまた友だちからだったり。

彼らは、大企業に勤めるサラリーマンで、出張や視察ツアーで2〜3日、ミャンマーに行くことになったのだけど、というケースがほとんどです。

今まで、ミャンマーなんて、全く興味がなかった。どんな食べ物美味しいのか、どんな土産品を買えばよいか、よくわからない。出発前に調べても、ガイドブックもほとんどないし、ネットにもちゃんとした情報がない…。

「そういえば、原さんが、ミャンマーに詳しいはずだ」と、どうやらそこで、私の名前を思い出してくれるようなのです。

裏を返せば、ミナミの国が、新しもの好きのチャレンジングな起業家だけでなく、上場企業で働くお堅い一般のビジネスパーソンにとっても、身近な存在になってきた証拠だと思えます。

4年前、会社をつくった当初は、「え、ミャンマー?! それ、どこにあるの? そんな所に行って、危なくないの?!」と、びっくりされたり、反対に、ミャンマーに対する知識がないため、どんな反応をすればよいか分からず、「へー」と無関心を装われたり、どちらかでした。

それが、ほんの少しの縁を手繰って、「ミャンマーについて知りたい」という問い合わせを、たくさんいただくようになって、とても感慨深いものがあります。

日本でこんな仕事をしているのだけど、ミャンマーでも、ビジネスになるだろうか?

とか、
ミャンマーに学校や病院を作りたいのだけど、現地の状況を教えて欲しい。

とか、
ミャンマーのグルメ情報やおススメのお土産を教えてくださいなどなど。

ビジネスに関する情報なら、JETROやコンサルティング会社が、提供しているので、かなりリアルタイムな情報

を入手することができるようになりましたが、美味しいお店に行きたい!とか、気の利いたお土産はどこに行けば手に入るの?など、お金儲けとは関係のない情報は、まだまだ足りているとは言えません。

というわけで、今回はヤンゴン市内のおススメのレストランとお土産を、お知らせしたいと思います。

まずは、ミャンマーに行ったら、やっぱりその国の料理を食べなくっちゃ!というわけで、おススメのミャンマー料理を。

① ハウス・オブ・メモリーズ

アウンサン・スーチーさんのお父様アウンサン将軍の執務室だったお屋敷を、レストランに改装したものです。アウンサン将軍は、ミャンマー建国の父と言われる英雄ですが、志なかばで暗殺されてしまいました。2階に上がっていくと、古びた写真が飾ってあり、当時の机やタイプライターがそのまま展示してあります。

ミャンマー料理は、インドの影響を受けていて、肉や野菜をカレーのように煮込んだものが多く、私たち日本人には、少々油っこいのですが、ここのお料理はさっぱりと上品な味付けで、いくらでも安心して注文できます。

② シャン・ヨー・ヤー

同じミャンマー料理でも、こちらはビルマ族ではなく、シャン族の民族料理です。シャン州は美味しいお米の産地でもあり、麺類など日本人の味覚にあうものがたくさんあります。

とくに、このお店のオーナーは、日本びいきの方で、日本語のメニューもおいてあります。初めての人も、どんな料理が出てくるか分からないなんて、心配しなくてすむのが、うれしいですね!

③ ラ・オペラ

なぜか、ミャンマーには美味しいイタリアン・レストランがたくさんあります。しかも、六本木や恵比寿にあってもおかしくないような、素敵な雰囲気。最初は、不思議に思っていたのですが、考えてみたらオーナーがイタリア人だからではないかしらん?ここは、そんなイタリ

◆筆者 原 尚美 (はら なおみ) プロフィール

税理士。東京外国語大学卒業。TACの全日本答練(現:全国公開模試)「財務諸表論」「法人税法」で全国1位の成績を収め、税理士試験に合格。直後に出産。育児と両立させるため、1日3時間だけの会計事務所からスタートし、現在は全員女性のスタッフ約30名の規模にまで成長。一部上場企業の子会社やグローバル企業の日本子会社などをクライアントにもつ。ミャンマーに会計サービスの会社を設立し、海外進出支援にも力を入れている。著書に『小さな会社のための総務・経理の仕事がわかる本』『小さな起業のファイナンス』(いずれもソーテック社)、『51の質問に答えるだけでできる「事業計画書」の作り方(日本実業出版社)』『トコトわかる株式会社の作り方(新星出版社)』『世界一ラクにできる確定申告(技術評論社)』『一生食っていくための土業の営業術(中経出版)』など。その他、「経理ウーマン」「デイの経営と運営」など雑誌への寄稿や、商工会議所、中小企業投資育成株式会社、日本政策金融公庫などでの、セミナー実績も多数。

アンの中でも、とくにお洒落な佇まいのお店。インヤー湖という湖のほとりにあって、晴れた日には芝生の上で、美味しいワインを飲みながら、優雅なお食事が楽しめます。

④ ゴールデン・ダック

とにかく安い!美味しい!中華料理のお店です。店内の水槽で今まで生きていた、お魚やエビなどが、出てきます。蟹や北京ダックやら、いくら食べてもお財布に優しいお店です。できるだけ大人数で行って、これでもか!というぐらい食べるのが、おススメです。



ミャンマー事務所のスタッフと大勢で

⑤ ザ・ストランド・ホテル

1901年のイギリス統治下から続く由緒あるホテルのレストラン。ジョージ・オーウェルやサマセット・モームなどが宿泊したというだけあって、歴史を感じさせるコロニアル様式の建物に、うっとりします。



貴族になった気分を味わえます

夜のお食事でも悪くはありませんが、イギリスと言えば、なんといってもアフタヌーン・ティー。ぜひ、本場のティータイムを味わってください!

それでは、次におススメの土産店をご紹介します。

⑥ ポメロ

ヨーロッパのNGOが経営している少数民族の民芸品の店です。ヨーロッパ人が指導しているだけあって、クオリティが高く、とにかくめっちゃ可愛い!

ミャンマーは、文化レベルの高い国だということがよく分かります。

⑦ ゴー・グリーン

有機野菜や果物、お茶を売っているお店です。この有機コーヒーは、毎回、我が家の夫がリクエストするほどの、おいしさです!またミャンマーはウコンの産地としても有名ですが、この有機ターメリックは絶品です。



新鮮な果物が所狭しと並んでいます

⑧ ミャンマー・ビア

ミャンマー土産の王様です。私はお酒が飲めないのですが、よく分からないのですが、どの駐在員も絶賛する名品。コクがあって美味しいらしいです。シティ・マートというショッピングセンターに行けば、カートンで売っていますよ。

いかがでしょうか?これから、ビジネスや観光でミャンマーに行こうかと思っている方は、ぜひ参考にしてくださいませ!

好評につき
第14刷
発売中

51の質問に答えるだけですぐできる
「事業計画書」の作り方

原 尚美 著(日本実業出版社) 1,600円+税

51の質問に順番に答えるだけで、会計やマーケティングの知識がなくても、簡単に事業計画書ができる本。

『ソイ・マヨ』という大豆マヨネーズの事業計画をモデルに示して説明しているので、具体的な考え方や作り方のイメージがつかめます。これから起業しようという方、新規事業を始めたい方に大いに役立ちます。

